



SNS(X) 開設中！

@jtsue_yamanashi

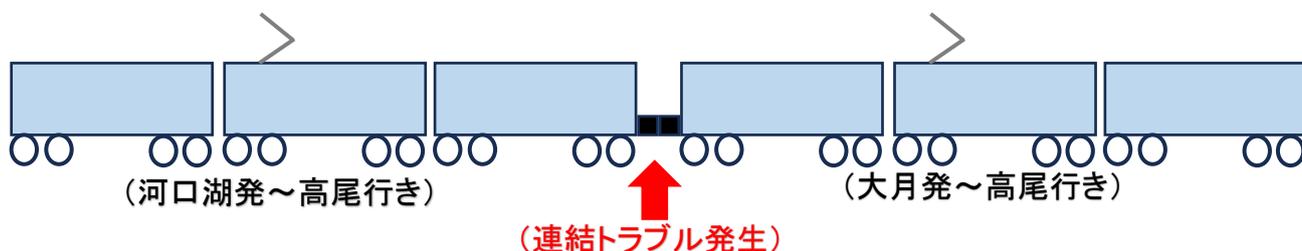
2024.8.31 No.5

(こんなことがありました) 連結トラブル

責任追及ではなく原因究明をしっかりと行っていこう！

8月25日(日)、大月駅にて211系の連結(河口湖始発の高尾行きと大月始発の高尾行き)の際、パイロットランプ(ドアが完全に閉まっていることを知らせるランプ)が急に消えたため、確認したところ連結がきちんとできていなかったことが判明しました。その後、車両点検を行い、52分の遅れで運転再開しました。

(イメージ)



この連結では普段乗務員のみで行っており、駅社員や JETS(JR 東日本運輸サービス)大月派出からの立ち合いはありません。このため、乗務員から「何かあっても周りに相談できる人がいない」といった不安の声があがっていました。今回、お客さまや社員の死傷事故はありませんでしたが、**しっかり連結がされていない状態で走行していたら、突然列車が分離し、車両間の移動中にお客さまが転落する事故が起きていたかもしれません。**このようなことが二度と起きないようにするために**責任追及ではなくしっかりと原因究明**を行っていかねばなりません。そして、連結作業時には少ない要員で行うのではなく、ダブルチェックが行えるための要員をしっかりと確保すべきです。

責任追及を許さず、しっかりと原因究明をして

同じことを発生させないようにしよう！

